

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名		介護予防の推進		施策No	02-02		部課名	福祉部高齢者福祉課		課長名	伊藤	内線	2660
関連部課名		福祉部介護保険課											
行政評価事業体系		分野	生涯健康都市[Ⅰ]										
		政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]										
目的	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等を目的とした介護予防のための諸施策を推進し、高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって、住み慣れた地域の中で日常生活を送れることを目的とする。												
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明					
			22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)						
	①	介護を必要としない高齢者の割合	82.4%	82.2%	82.1%	82.7%	84.0%	要介護等認定を受けていない高齢者数／65歳以上人口					
	②	二次予防事業対象者出現率	16.0%	18.5%	34.4%	34.4%	15.0%	65歳以上高齢者における二次予防事業対象者数の割合					
	③	介護予防事業参加者数	4,951	5,078	4,116	5,310	7,000	ころばん体操・せらばん体操、新おたっしやランチ、おげんきランチ、健康教室・講演会などの参加者数					
	④	健康推進リーダー活動者数	221	211	241	250	250	推進リーダーとして事業に参加している方					
	⑤												
現状と課題（指標分析）	○要介護、要支援状態とならない状態を維持し、いつまでも健康で生きがいをもって日常生活を営むためには、介護予防、重度化予防の取組が必要である。そのためには、元気なうちから介護予防を目指した健康づくりを始めていく必要がある。 ○日常生活圏域ニーズ調査（24年度実施）では、介護予防のために取り組んでみたいものの第1位は自宅での軽い運動プログラムで、第2位はスポーツ施設での運動プログラムであった。 ○ころばん体操の参加者が会場の制約で伸びないため、少人数でも実施できるようにする必要がある。 ○健康寿命の1歳延伸と要介護認定率の抑制（△2%）のために、壮年期の生活習慣病予防対策と高齢期の介護予防を連携して進めていく必要がある。 ○認知症を早期に発見し、治療に結びつける、また認知症となっても住みやすいまちとする等、認知症対策を強化する必要がある。												
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○二次予防事業対象者、要支援者など、対象者の身体状況等を踏まえた介護予防プログラムを作成し、実施していく。 ○元気高齢者などに対しては、身体機能の維持向上を図る運動や健康であるために意識することなどを知ってもらい、早い段階から介護予防に取り組めるような体制を作る。 ○気軽に介護予防ができるようなプログラムを検討する。 ○日常生活支援総合事業を実施し、各事業ごとに連携をもった体制を作る。 ○認知症に対して、段階にあった施策を実施できるよう体系的な対策を行う。												

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	重点的に推進	第5期高齢者プランを踏まえ、介護予防・重度化予防を重点的に行うとともに、いきいきプロジェクトを主軸として、健康寿命の延伸と要介護認定率の抑制を図っていく。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
荒川ころばん・せらばん 体操	06-03-38	2,469	5,051	重点的 に推進	推進	参加者の転倒予防と閉じこもり防止に 成果があり、小地域のコミュニティ形 成の一翼を担っているため、更なる参 加者の拡大を図る。
ひざ痛予防教室	06-03-39	711	1,633	重点的 に推進	推進	ころばん体操の会場で実施することで 参加者の拡大を図るとともに、膝痛に よる閉じこもりを防止する。
新おたっしやランチ	06-03-40	—	145	休止・ 完了	—	25年度事業を休止し、一次予防事業を 充実する。
高齢者施設を活用した高 齢者来食サービス事業(お げんきランチ)	06-03-41	7,237	16,261	重点的 に推進	重点的 に推進	介護運動指導士等によるプログラムの 充実を図るとともに、高齢者が利用し やすい事業に転換する。
脳と心の健康推進事業	06-03-42	1,966	1,695	継続	継続	認知症について正しく理解し早期発見 を可能とするため普及啓発を図るとと もに、認知機能維持の効果を検証す る。
理学療法士訪問指導	06-03-43	979	996	推進	推進	訪問により生活実態に合わせた指導を 行い、生活機能の向上を図る。
介護予防普及啓発事業	06-03-44	6,993	6,927	推進	推進	高齢者が介護予防に積極的に取り組 み、健康を維持するよう、意識の啓発 を図る。
認知症予防対策	06-03-45	—	2,886	重点的 に推進	重点的 に推進	認知機能の低下と閉じこもりを防ぐた めに、参加者同士の交流と自主グルー プ化を図る。
健康推進リーダー育成	06-03-46	531	352	推進	重点的 に推進	介護予防の担い手として核となるリー ダーであり、介護予防を主体的に展開 していくために育成を強化する。
地域包括支援センター事 業	06-03-47	173,224	175,224	重点的 に推進	重点的 に推進	地域において、迅速かつ適切に高齢者 に対応するため、運営規模を検討す る。
認知症キャラバン・メイ ト	06-03-48	610	724	推進	重点的 に推進	認知症高齢者と家族を支援する地域づ くりを図り、関係機関との連携を強化 する。
介護予防・日常生活支援 総合事業	06-04-26	—	1,903	重点的 に推進	重点的 に推進	効果的な介護予防事業を総合的に展開 し、介護予防を推進していく。
二次予防事業対象者把握 事業	06-04-27	32,759	5,395	重点的 に推進	重点的 に推進	二次予防事業対象者の決定を適切に行 うとともに、より一層の介護予防の普 及拡大を行い、高齢者が主体的に介護 予防に取り組めるようになる。
いきいきボランティアポ イント制度事業	06-04-28	402	508	重点的 に推進	重点的 に推進	高齢者のボランティア活動を奨励・支 援することは、介護予防の促進や元気 な高齢者が暮らす地域づくりに資する ものであるとともに、介護給付費の抑 制による実質的な介護保険料の軽減に も寄与し得るものである。
合 計		227,881	219,700			